

☆市民活動をFMラジオで発信☆

『つなげよう！市民のチカラ！』

○第96回：2023年6月25日（日）

○ゲスト：茂森町会

町会長 三國 徹（ミクニトシ）さん



写真：三國さん

○ 放送内容

今回の放送では、茂森町会町会長の三國 徹さんをゲストにお招きしました。三國さんには、ねぶたを通じた地域の活性化に関すること、今後、茂森町会でこれから取り組んでいきたいことや展望について、お話しいただきました🎧

◆ コロナ禍における、町会活動での苦勞とは？

茂森町会は、市役所から禅林街の方向に5分ほど歩いたところに位置する町会で、約120世帯が居住しています。三國さんは今年で町会長に就任して4年目となるそうですが、就任時はコロナ禍真っ只中であったことから、人と人との対面での行事が開催できなかつたり、住民ともコミュニケーションが取れず、大変だったそうです。そうした中でも、昨年12月には町会の各家庭にゴミ袋を配布するなど、今できる取り組みを続けてきました🎧

◆ ねぶたで地域を元気に！

茂森町には町会とは別組織で「茂森津軽ネプタ愛好会」というねぶた団体があります。実は三國さん、町会長に就任する前は、この愛好会の会長を20年ほど続けてきたという経歴の持ち主😊長年にわたって先頭に立ち、ねぶたで地域を盛り上げてきました。町会長となった現在は、会長をしていた頃のように愛好会の活動には関わっていませんが、町会として、愛好会の活動をサポートしているそうです。この愛好会には多くの地域住民が参加しており、夏はねぶたの活動を通じて地域が盛り上がります。近々、朝陽小学校にねぶた小屋が建てられると、お囃子の練習会も行われるそうです😊

◆ これからの活動

今年は新型コロナウイルスの感染者数も減少傾向にあり、全国的にコロナ前の生活様式に戻り始めている中で、町会での活動も以前のように活発化させたいと話す三國さん。これからは、人のつながりを作る企画をし、町会の端から端まで多くの住民を巻き込み、近所の人たち同士の「顔が見える地域」にしていきたいそうです。そうした中で現在企画されているのが、9月上旬に開催予定の「納涼祭り」です🎧🎧 三國さんは「コロナ禍で長らく直接コミュニケーションをとれていなかった住民の皆さんと盛り上がる場を作り、住民の方々に元気になってもらいたい」「この納涼祭りをきっかけに、明るい町会にしていきたい」とお話されていました😊